



「NCU Global Justice Project」ペンギンリサイクルボックスが 名古屋港水族館へ出張しました！

ペットボトルをボトル本体、キャップ、ラベルに分割して三羽のペンギンに食べさせることができるユニークなりサイクルボックス。普段は、山の畑キャンパス1号館1階の自動販売機の隣に設置されています。（自動販売機のウミガメを中心としたデザインも2020年に「NCU Global Justice Project」に在籍した学生がデザインしたものです。）

9月6日（水）には、実証実験のため、名古屋港水族館にリサイクルボックスが出張し、設置されました。当日は水平リサイクル（使い終わった製品をもとに同じ種類の製品につくりかえるリサイクル）やペンギンリサイクルボックスの使用感に関するアンケート調査も実施され、たくさんの来場者がペットボトルのリサイクルに関する意識を高めるきっかけとなりました。



名古屋港水族館に設置されたペンギンリサイクルボックス
※同時に実施されたアンケート調査では157件の回答を得ました。

SDGs将来世代創造フォーラム2023・中日SDGsフェアに出展しました！

8月23日(水)開催のSDGs将来世代創造フォーラム2023(主催：アサヒ飲料)と8月27日(日)開催の中日SDGsフェア(主催：中日新聞社)に出展しました！

中日SDGsフェアでは、学生によるプレゼンテーションが行われ、昨年度SDGs IDEA FORUM 2022で最優秀賞を受賞した「ぱくツーリズム」（人文社会学部曾我幸代准教授ゼミ）の学生が、SDGs IDEA FORUM 2022後の取り組みについて発表しました。このほか、本学SDGsセンターと「ぱくツーリズム」の学生が共同でブース出展し、本学の教育、研究、学生活動等におけるSDGs活動について来場者に紹介しました。



中日SDGsフェアのブースにて
(当日は曾我准教授ゼミの学生が来場者と共にSDGsについて考えました)



SDGs関連イベントにブースを出展予定！

SDGsセンターでは、今後、開催が予定されている以下のSDGs関連イベントにブースを出展する予定です。

①SDGs推進フェア「SDGs AICHI EXPO 2023」

- ・主催：SDGs AICHI EXPO実行委員会（会長：大村愛知県知事）
 - ・日時：10月5日（木）～10月7日（土）
 - ・会場：愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo） 展示ホールA
- ※人文社会学部と薬学部の学生にも参加いただく予定です。



①「SDGs AICHI EXPO」は今年度、初めての出展となります。

②東京海上日動SDGsまつり

- ・主催：東京海上日動(愛知県・名古屋市も共催)
- ・日時：11月2日（木）
- ・会場：東京海上日動ビル（丸の内）



②東京海上日動SDGsまつりの昨年度のブース出展

ここでは、SDGs 17ゴールについて、ゴールごとに紹介します。今回は、SDG12（つくる責任 つかう責任）について紹介します。

Goal12.持続可能な生産消費形態を確保する

SDG12に関連する本学の取り組み例（SDGs活動レポートより）

教養科目「社会学C」と「地域連携参加型学習」の合同講演会開催！



2021年11月13日（土）午後1時半から、名古屋市立大学桜山キャンパスさくら講堂で講演会を開催しました。教養科目である「社会学C」と「地域連携参加型学習」という授業の一貫で日本環境設計株式会社取締役会長、岩元美智彦氏をお招きして、ご講演いただきました。

岡授業において扱っているESD（Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育）は、持続可能な社会づくりを担う人を育てる教育活動として、2005年よりユネスコを中心に普及・促進されてきました。現在では、SDGs（Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標）を達成するための教育活動のひとつとして捉えられています。SDGsに取り組みにあたり、持続可能な開発を構成する経済開発、環境保全および社会的公正の均衡はときに難しさをともない、不可能とも思われることも少なくありません。

今回お話しくださった岩元さんはこうした状況に「あそび心」をもって取り組まれてきました。映画「Back to the Future」に出てくる「ごみで走るデリアン」からの着想で、「ごみを資源に」する技術と仕組みを開発しました。誰もが参加できる機会をつくって、生活者である一人ひとりが「ごみを資源に」する習慣を身につけると、それを文化にしていけることを試みています。

岩元さんのお話の後、岩元さんを囲んで座談会形式で受講生からの質問をもとに、持続可能な社会づくりに関わることのワクワク感を共有する時間を持ちました。気候変動に関する諸問題によって、未来に希望を見出せず、「気候不安定」をいただく若者も少なくありません。岩元さんの話からは、そうした不安を払拭するような確かさとともに、あそび心をもって取り組む楽しさを感じることができました。

- 【担当教員】
- ・「社会学C」：安藤理恵（高等教育院 名古屋市教育委員会連携推進特任教授）
 - ・「地域連携参加型学習」：安藤理恵と曾我幸代（人間文化研究科准教授）

- 【出席した学生からのコメント】
- ・映画からの着想で世界を変える技術を生み出せること、その実行力に感動した。
 - ・行動することを諦めない強さを持っていて、とにかくかっこいい。自分も見習いたい。
 - ・岩元さんのことをもっと知りたくなっただけでなく、積極的に知識を増やしたい、学びたいと純粋に思った。これからの大学生活を有意義に過ごしたい。自分にも何かできるはず。
 - ・自分事にすることの大切さを実感した。「正しい」を「楽しい」にしていけば、世界が変わる。
 - ・「世界はまだ捨てたものではないのだ」と考えを改めた。希望を見いだせた。
 - ・多くの今はまだ無関心な人に、ぜひ聞いて欲しい。自分は変わったと思う。聞いたらみんなリサイクルしたくなるだろう。



プラスチック容器の完全回収を目指して 東山動植物園でデポジット制の社会実験を実施！



2021年11月3日、本学の人文社会学部の学生団体「NCU Global Justice Project」が、ペットボトルの確実な回収を実現するため、東山動植物園でデポジット制の社会実験を行いました。

この企画は、2021年2月に開催された名古屋市主催のSDGs IDEA FORUM 2020(※)において、「NCU Global Justice Project」が発表し最優秀賞を獲得したアイデアの一部を具体化したものです。東山動植物園内で20円のデポジットをペットボトル飲料に上乗せして購入し、飲み終わった後に各出口に設置された回収場所でペットボトルを返却すると20円が返金される仕組みです。

当日の社会実験には、プラスチックごみの問題などに関心を持ってもらおうと、35人の学生などが参加しました。今回の結果は、論文などにまとめるほか、ペットボトル以外の様々なプラスチック容器の回収に向けた活動などにも応用していく予定です。

活動の経緯	2021年11月3日、本学の人文社会学部の学生団体「NCU Global Justice Project」が、ペットボトルの確実な回収を実現するため、東山動植物園でデポジット制の社会実験を行いました。
活動の時期	2021年11月
関連URL	当日の様子は、TV・新聞などのメディアでも報道されました。 ■メーテレNEWS ■中日新聞WEB



販売場所の様子 回収場所の様子

※SDGs IDEA FORUMの詳細は、公式サイトをご覧ください。
■SDGs IDEA FORUM

その他のSDG12に関する取り組みについては、以下のサイトをご確認ください。
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/12/>

お問い合わせ

名古屋市立大学SDGsセンター事務局
（企画推進課内）

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
Tel : 052-853-8806
Mail : ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

